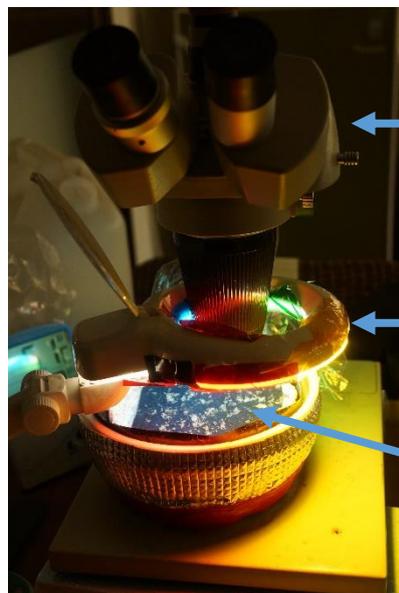
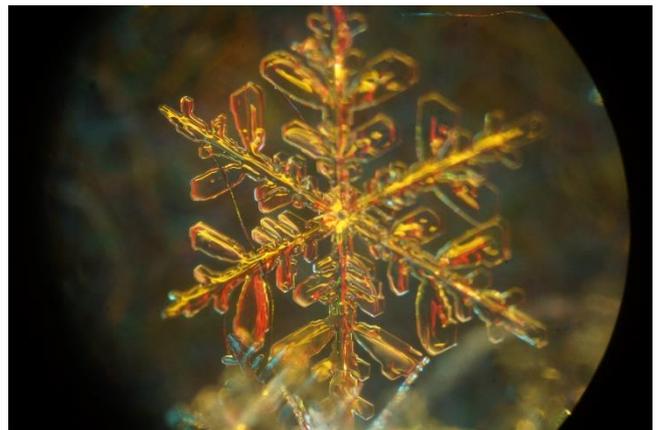


<色づく雪の結晶 2 : 平成31年2月1日>

昨日午後、天気予報通りにみぞれが降りました。冷却保存して顕微鏡で観察すると、大部分は形が分からないほど融けていますが、中には形を残しているものもありました。高度が少し高い山間部では、天気予報では予測されていないくても、朝方晴天下でチラチラしばらく雪が降ることがあります。これは雪雲に関係なく、地上から上がる水蒸気が上空の冷気の中で雪結晶になるもので、比較的形の良い結晶が現れます。今朝8時半ごろそれが起こりました。写真は同じ羊歯(しだ)状結晶を、保存装置を回転させて、違う色にして撮影しました。最後の写真は装置の写真で、冷却保存装置の上部に円形状のLEDがあり、それに色の異なるカラーセロファンを貼っています。



実体顕微鏡

円形状のLED

雪と塩を混ぜてマイナス20度の低温を作り、フェルトを冷却しその上に雪をのせて保存